

令和4年度

未来をつくろう

# 市民と市長の地域懇談会

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 情報提供
4. 懇談会
5. 閉 会

▼開催日程

	と き	と ころ
10 / 17 (月)	午後 13:30 ~ 15:30	文化会館
10 / 24 (月)	午後 13:30 ~ 15:30	ふれあいセンター
10 / 24 (月)	夜 18:30 ~ 20:30	文化会館
10 / 26 (水)	夜 18:30 ~ 20:30	山部福祉センター
10 / 27 (木)	夜 18:30 ~ 20:30	麓郷集落センター
10 / 28 (金)	夜 18:30 ~ 20:30	東山支所
11 / 7 (月)	夜 18:30 ~ 20:30	布部会館
11 / 8 (火)	夜 18:30 ~ 20:30	鳥沼会館

別紙アンケートにご協力ください

(受付テーブルで回収します)

# JR 根室線 富良野～新得間について

## 1. これまでの経過

平成 28 年 11 月、JR北海道が維持困難な 10 路線 13 線区を公表、根室線富良野～新得間については、鉄道よりも他の交通手段が適しているとの見解が示されました。

これ以降、当市を含む根室本線対策協議会加盟自治体一丸となって、JRや北海道をはじめ、道内選出国會議員や国土交通省に対して、災害不通区間の復旧と観光活用など、鉄道存続に向けた要請活動を行ってまいりました。

また、鉄道の現況について一人でも多くの方にご認識いただき、存続に向けた機運を盛り上げるため、鉄道フォーラムの開催や利活用促進に向けたPRなどの取り組みを実施してきました。

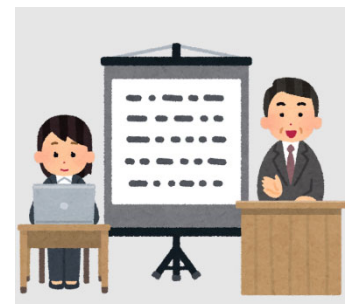
このような中、国からJR北海道に対し、富良野～新得間のバス転換を求める監督命令が出され、昨年 7 月にはJR北海道から関係市町村に鉄道の存続を含めた鉄道のあり方について協議の申し入れがあり、幾度にもわたり話し合いを重ねてまいりましたが、本年1月の関係市町村長会議において、この区間の鉄道存続に要する年間 10 億9千万円という費用の負担は困難であることから、新たな交通体系の検討を進めることが確認されました。

そして本年3月、関係市町村同時期に、共通の内容で住民説明会を実施、富良野市内では4会場で開催し、ご意見を伺いました。また、7月22日に開催された連合町内会長会議でも、現況の報告とご意見の聴取の機会を設けさせていただきました。



## 2. 住民説明会でお寄せいただいた声

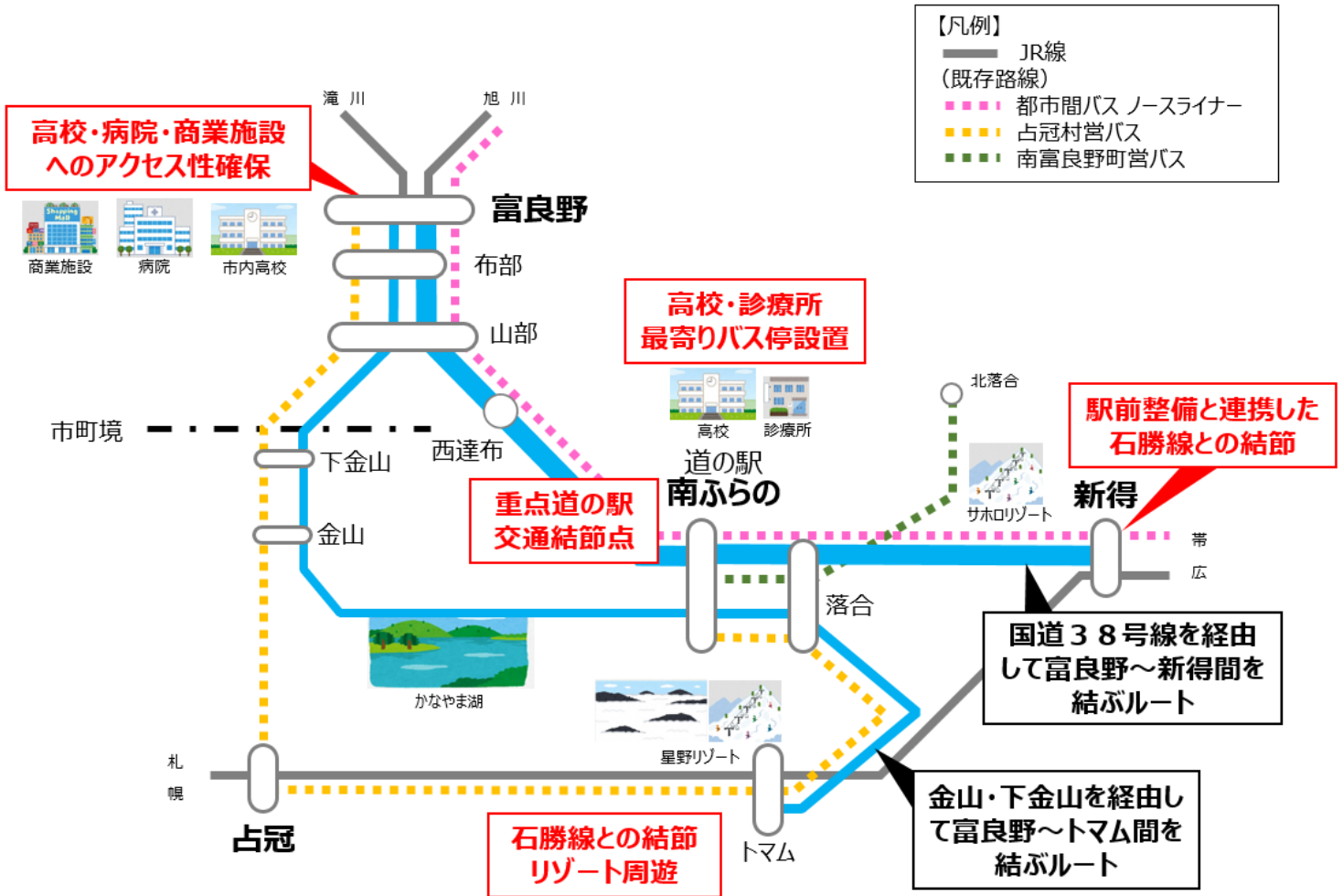
出席者からは、多額の費用負担が必要なことからバス転換は止むを得ないとの意見や、観光活用や災害時の代替路線としての重要性から鉄道存続を求める意見をいただきました。＜資料別紙＞



## 3. 新たな交通体系検討の現在地

各地域の事情に応じて利便性が確保されると共に、将来的に持続可能な交通体系となるよう、既存バス路線を拡大運用する手法を中心に、望ましい経路や必要な便数等についての素案づくりを進めているところです。

## 検討中の交通体系ルート（検討資料につき内容未確定）



## 4. 今後の予定（見込）

◆当面の目標は、住民の利便性の確保と、将来的に持続可能な新たな交通体系の具体化です。

・関係自治体とも意向のすり合わせを行いながら、具体的なルート案作りを進めます。

・交通のルートやダイヤなどについて、バス運行事業者等との調整を進めます。

・廃線の判断の前提として、代替交通の確立と合意が必要となります。

・検討の進捗状況に応じ、情報の提供等に努めてまいります。



（担当部署：富良野市総務部企画振興課）

## 令和4年3月開催の住民説明会でお寄せいただいた声（無作為抽出）

---

赤線の所の経営は厳しいというのは認識しています。コロナ禍のなかで協議を進められたことにも敬意を表します。バス転換ありきの流れになっているようですが、協議の結果そうなったのではないかというのは感じられます。鉄路が無くなると観光面を含め北海道全体に大きな影響が出ると考えられます。再度協議会で鉄路のあり方について再検討してはどうでしょうか。

---

話を聞いていると関係する市町村に押し付けられているように思われます。そうなると廃線になってしまいうまいかと思えます。JRの路線を抱える市町村全体の問題として議論しないと、そこだけ切捨てるのは駄目だと思います。新幹線が通ると市と市をつなぐ幹線は繋がることになりましたが、他のまちは関係なくなってしまう。反対という話があっても良いのではないのでしょうか。

---

南富良野町のJRを不通にしておいて、乗車率が悪いという状況があると思います。サホロ、金山湖、富良野を繋げば観光として良いものが出来ると思えます。また、ダイヤ改正するごとに利便性もどんどん悪くなっています。国防上の面からも鉄路を残すことが必要かと思えますので、こうしたことを国に話すことによってもう少し別の道も出てくるのではないのでしょうか。

---

経営者として赤字だからと言って経営を縮小するのは最低のことだと思います。こんなことばかりやっていると将来どんなことをやってもJR北海道は国の援助を受けないとやっていけないとなってしまうのではないのでしょうか。

---

国鉄分割民営化により会社になったことにより、将来的に赤字路線は廃止するだろうと思っていました。平成28年の台風災害時の復旧を行っていないことから、その時点で根室線の廃止ということを書いていたのではないのでしょうか。そういう意味では、国や北海道、JR北海道の責任だと考えます。その上で、利用者や住民、沿線自治体にバス転換するから飲めという形で指導することに不満があります。

---

JRの利用が少ないことは実情であることから、富良野～新得間についてはやむを得ない状況に追い込まれたという結論でこれは仕方ないと自分なりに思っています。こうした実情を知らない方も多くいますので、こうした機会をもっと作るべきと考えています。

---

報道等でもう決まった話と思っていましたが、これからスタートということでしたが、もっと市の立場を明確にして説明をしてほしいです。私たちは過去に根室線に乗ってみましたが、10名くらいしか載っていないとほとんど観光客でした。実感として存続は無理だと感じました。新聞報道ではなく、市としてもっと情報を流してほしい。

---

協議会のあり方について、地元の小さな自治体に投げ掛ける今の状況では、10億9千万円という大きな負担も含め廃止ありきの議論にならざるを得ない。国や北海道も一緒に入った協議会として進めていくべきではないのでしょうか。これからの黄色線区の議論にも関わっていく課題だと考えます。

---

代替ルートを含め、地域だけでなく我が国全体の経済的観点から考えていくべきではないのでしょうか。

---

国や道で支援できない、乗る人もいないということで、バス転換もやむを得ないと考えていますが、新たな交通手段として、道やJRはどういう考え方をしているのか、少子高齢化のなかで、家から出るのも難しくなっている現状です。JRだけでなく、全ての地域の交通資源を活用していく計画が必要ではないのでしょうか。

---

---

4市町村の役割として、富良野から札幌、帯広、旭川へ繋げる意味でも継続した取り組みをお願いします。JRにおいては、新幹線が延伸されることから、札幌を中心として北海道全域に広げていく役割を担っていただきたい。北海道は、バス転換後は物流も含め幹線道路の整備が重要となります。高規格道はもちろんです、空路、海路も含めた整備についてお願いしたいと思っています。要望でございます。

---

占冠のバスが走っているが、これは乗れないことになっていますが、これはもったいないと思いますが、改善等できるのでしょうか。

---

鉄道が果たした役割の一つとして、駅を中心にして街が発展してきたということがあるかと思います。地方創生という点からも国にも認識していただきたい。

---

今の鉄道は全国で赤字が多く、人口も減っている状況から国もJRの問題を検討するチームを発足させたという状況。そうした状況をみながら最終的な判断をする必要があると考えます。

---

分割民営化の段階で、公共交通機関の重要性を捉えてくれてない、何とかするのは、これはもう政治の力だけだと思います。富良野も道議会議員がいるのでそういうところに働きかければいいのかと思っていて、頭から支援の対象としないという考え方はいかがなものかと思っています。

---

国が全力をあげて鉄道を復旧させるべきだと考える。動き出したら鉄道を走らせるべき。国へ様々な支援を要請すべきではないでしょうか。

---

今までは、バスを乗る人が少なくなることで西達布線が無くなるのではないかと心配もありましたが、かえってここには南富良野に通う高校生もいますし、病院に通う人もいますから、そうした生活面であれば、この地域にとっては、そのバス転換でかえって利益があるのかなあと考えています。本当は、鉄道で全道各地が繋がることが望ましいですが、今後のことを考えると、それはあきらめてバスについて考えるべきではないかと思っています。ただ、課題としては、富良野から落合までとなると通学の子どもの乗車時間が心配になります。

---

交通体系と言いますが、利便性が悪くなって利用しないこともあるのではないのでしょうか。乗る人が少ない、赤字が出ると言いますが、そこに集落があるのであれば、線路は残すべきではないのでしょうか。狩勝峠を越えてくれとは言いません。また、JRとしては災害復旧に関してどこまで検討したのでしょうか。

---

北海道では大量輸送できる鉄道の価値は非常にあると考えます。ただ赤字だからということではなく、どう有効的に活用するのかという視点で考えてほしい。例えば、SDGSの視点からもこれから鉄道の必要性はすごく大きくなると思います。

---

これから高齢者も増えるので新たな交通体系ということが重要になります、医療の課題等も踏まえながら、戦略的に進めていくべきと考えます。

---

心配しているのは災害時の輸送手段であり、JRが無くなると輸送手段がなくなってしまいます。JR以外に近い輸送方法として十勝港があります。こうした港と繋ぐ道路整備も農業のまちとして考える必要があり、北海道やJAとも協力しながら要請等行っていくことが必要ではないのでしょうか。

---

JR北海道では、観光促進等で九州やヨーロッパで行っているような、高級車両を使った大陸横断列車のような運行を行う予定はないのでしょうか。根室線を活用するにも今後はこうした取り組みが必要ではないのでしょうか。

---

## マイナンバーカード 交付申請支援

# 自宅・職場・会館等で申請！



お電話をいただき、事前予約で日時を決めて、ご指定の場所に、市職員がお伺いを  
して、マイナンバーカード未取得の方の申請手続きを支援させていただきます。

### マイナンバーカードを持っていない方へ

ご夫婦、ご家族、ご近所の方と一緒に、町内会のみなさんと一緒に、また団体やサークル活動の時に仲間のみなさんと一緒にマイナンバーカードの申請をしてみませんか？

**市職員が自宅や職場、地域会館等へお伺いのうえ申請のお手伝いをします。**

(注)事前予約のお電話の際に用意していただく書類等のご説明をいたします。

### 事業所、職場で交付手続きを

日中は仕事で市役所に行くことができないけれども、会社でマイナンバーカードの交付手続きが出来るのであればお願いしたい、という場合も電話でご相談ください。

**市職員が会社へお伺いのうえ申請のお手伝いをします。**

(注)事前予約のお電話の際に用意していただく書類等のご説明をいたします。



## 予約方法

ご希望の日時やご用意していただく書類などを電話で確認させていただきます。

# TEL 0167-39-2301 / 富良野市市民課

予約受付時間 8時30分～17時15分（土日祝日を除く）

ご訪問の予約日は、土日祝日を除く 平日9時～16時 の時間帯で調整させていただきます。

予約の混雑状況により、お客さまのご希望の日時に添えない場合もありますが、お申し込みの際に、電話で調整のうえ日時を決めさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策にもご協力をよろしくお願いします。

また、マイナンバーカードをお持ちでない方には、7月下旬より QRコード付きの交  
申請書が送付されていますので、その封筒があると手続きが簡単に行えます。

